

第11号

平成18年12月

•スペースパークボランティアの会•

S.P.Vつうしん

発行：スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201

今年もハッスル

（鉄道フェスティバル開催）

10月7・8・9日、私たち鉄道ジオラマグループが待ち望んだJR東日本郡山駅共催の「鉄道フェスティバル」が開催されました。今回で5回目を迎えるテーマは「展示品機能の充実」でした。昨年の戦後60年「郡山駅と空襲」よりも地味ではありますが内容のレベルアップに向けて始動しました。まず、今出品されている鉄道グッズをよりリアルに「静から動へ」再現しようと、情報収集のため7月中旬、動態模型SLがある西会津へ赴きました。在来の大正時代SLの汽笛に加え電車のブレーキ弁もJRの好意により調達できました。エアコンプレッサー容量もアップされブレーキ作用と同時に圧力ゲージが作動。速度計も整備され新模擬運転台が完成したのは暑かった夏も終わりの9月中旬でした。そしてイベントは開催されました。大勢の親子連れがやってきました。会場の20階「研修室駅」にはネットオークションや友人などから借用した鉄道グッズがズラリ。科学グループによる「THE(ジ)転車でGO」(自転車発電コーナー)や、案内グループや科学グループによるペーパークラフトコーナーなどに子どもたちが集中盛況でした。一方、22階「ジオラマ駅」コーナーでは、終日「きかんしゃトーマスとなかまたち」が運転され、特に中日には屋上展望台まで鈴なり満員の盛況でした。子どもたちに人気の秘密は、機関車の顔が描かれたSLトーマスの魅力に自分の夢を託しているところにあるのではないかでしょうか。ジオラマショーが終わる毎に実物運転台コーナーへと向かいました。時刻表を指差確認、「出発進行」発車SLの汽笛を鳴らし、(少々驚きつつ)ノッチを上げ、ブレーキを掛け、速度計を眺め、ゲージ圧力を確認、停車し、満足げに笑顔で立ち去る少年模範運転士もいて今までの成果が報われたもの

と感じました。ご家族の方々もお子さまが喜んでいる姿を盛んにカメラに納めたり盛況でした。今年の入場者も昨年を大幅に上回ったとのことです。これも案内、科学、天文各グループのご協力の賜物であり、私たち鉄道ジオラマグループたちも明日への目標に向かって邁進いたします。

(長谷川)



案内 サービス グループ

昔懐かし
紙芝居



郡山安積開拓入植者の碑を探索して

私達案内ボランティアは、ミニツア（郡山市の歴史の跡を探索）を時折実施しております。今回で第8回目となるミニツア。私達案内ボランティア11名の歴史専門家?は、快晴の10月15日、3台の車に分乗して、安積開拓入植者の碑（郡山市が平成に入って設置した入植者の石碑）を探索しました。時間の都合で10ヶ藩全部は探索出来ませんでしたが、久留米藩（北）を皮切りに、岡山藩、棚倉藩、土佐藩、鳥取藩、二本松藩、久留米藩（南）の7ヶ藩を探索し、残り3ヶ藩、会津藩、米沢藩、松山藩の碑は次のミニツアの機会に譲る事にしました。私達が車で道路を通る時、黒い石碑を目



にする事がありました、その時は余り気にも止めずに関心もありませんでしたが、案内ボランティアとして活動し、郡山の歴史をお客様に説明するようになってからは次第に歴史に興味が湧き、真剣に歴史を掘り下げて、学習

する心つもりになったのは確かです。二本松藩碑は開成山公園にあり、近辺には安積開拓の功労者阿部茂兵衛氏の銅像があり、それと並んで功労者中条政垣氏の顕彰碑がありますが、中条ご夫妻のお墓が道因寺の北側にあると言う事で、皆で参拝しました。参拝しながら、貴方様の偉大な功績は郡山の市民の皆様に対してはもとより、科学館においてになる、全国のお客様にお伝えしますと誓いました。私が最も心が痛んだのは、JR磐越西線、安子ヶ島駅の近く、国道49号線沿いにある、岡山藩碑でした。艱難貧苦に喘いで開拓ましたが、政府から無利子で借りた金も底を尽き生活苦の為、入植者10戸全戸が、夜逃げ同然で開拓地を離れた事がありました。その石碑はあたかも、悲しい墓標のように見えました。苦しい時の心の拠り所としたり、豊作を祈願する為、各地に遙拝所として神社が建てられましたが、時代と共にその建物は開成山神宮を除いて、寂れてゆく感じがしました。黄金色に輝く田圃の稻穂を観る時、遠い過去の先人の方々の開拓者魂に対して、本当に頭が下がる思いがありました。（先崎）

科学 グループ



駅前イベント

今回のS.P.Vは、「駅前出張」と「おおまち笑・show・ショー」で大盛り上がりでした!我々科学グループが用意したメニューも子供たちに大人気。お手軽工作「ポンプラ」は、フーッっと息を吹き込むと、ポンッと大きな音をあげて空を飛ぶおもちゃ。子供たちは目を丸くしてびっくり。何度も何度も遊んで修理をお願いしに来る子までいました。

それから、自転車発電「THE(ジ) 転車でGO!!」。自転車を漕げば電気が出来る。その電気で電車

が走る。低学年の子はとにかく漕いで走らせて楽しんで、高学年のはその仕組みにまで興味を示していました。

もうひとつは、「紙トンボ作り」。ストローと牛乳パックの切れ端、たったそれだけで本当に飛んでいくんです。ただし、うまく飛ばすにはちょっとコツが。折り方や持ち方、みんなちょっ

と工夫して遊んでいました。

今回の活動も、お客様だけでなく、我々S.P.Vにとっても楽しい思い出になりました。次回も全力で活動します。どうぞご期待下さい!!（熊本）

11月5日はおおまち笑・SHOW・商に参加し、その前の二日に加え、太陽観測、昔遊び、紙トンボ（竹トンボの紙バージョン!!）を行いました。紙トンボは、作るのは簡単!でも、飛ばし方が難しく、悪戦苦闘。おじいちゃんおばあちゃんは紙トンボや昔遊びを見て、懐かしむ姿もあり、子供たちに飛ばし方のコツを伝授していました。うまく飛ぶと『おおっ! やった!!』と歓声があがり、子供たちも笑顔で楽しんでいました(^O^)いつもとは違い、3グループ合同での活動だったため、他のグループの方々と話す機会もあり、楽しく充実した3日間でした☆これからも幅広い年代の方に楽しんでいただけるように頑張っていきたいと思います(*^_^*)♪（中村）



天文 グループ

星祭り

天文グループでは今年も、胎内星祭り(新潟県胎内市)とスターライトフェスティバル(福島県石川町)に参加しました。

胎内星祭りは8月25日～27日の3日間行われ、夜は満天の星空が広がりました。

望遠鏡メーカーのビクセンブースで望遠鏡をお借りして、即席観望会も行ない来場者



に喜んでもらえました。

今年3回目の参加となるスターライトフェスティバルは、9月29日～10月1日石川町の母畠ダムレークサイドで行われ、恒例のS.P.Vブースを設け、大勢の来場者に「レンズの中の宝石箱(星)」を楽しんで頂きました。

これからも天文グループでは、いろんな所に出向いて星の世界を楽しんでもらい、暗い時代の星の輝きになれたらと思っています。

※「おまけ」

恒例?K作&S1の天ボラ対談

「喫茶マイ○ドにて」

S1「K作さん、最近ホームプラネタリウムとか、癒し系の商品が売れているのはどうしてなんでしょうね?」

K作「やっぱりそれはねー、この世知辛い社会がね、」

S1「おっと、時間のようです。今日はK作さんありがとうございました。」

K作「え!もう終わり」

S1「予定の字数です…」

(齋藤 正)

天ボラの

知識泉^⑩

●秋の夜空

秋の夜空を見上げると、よく目に付く星座があります。それは8時ごろ頭の真上に4つの星が四角く並んでいます。ベガサスの四角形です。そんなに明るい星ばかりではないけれど、視界に入ります。この四角形の星たちと、そこから連なっているアンドロメダ座を見ていると秋になつて空気が澄んできたのを感じます。また、双眼

鏡か望遠鏡を使って、四角形の一端をたどるとアンドロメダ銀河が見えてきます。双眼鏡の視野にぼーっと淡く光っている銀河を見ていると、これが200万年以上前に発した光で、自分が今そのメッセージを確認しているという不思議さにうたれます。自分の目で見ると本当に美しいですよ。(森)



内田博士の 魂の叫び!! ⑤『些細なきっかけ』

あれは理科の授業での出来事。「…表からわかるように一番多く産卵する魚類はマンボウです。一度に1億個の卵を産みます。しかし、海がマンボウだらけにならないのは…」海がマンボウだらけという言葉が、多感な思春期真っ只中の私の心に入り込んでしまわない訳がありません。“マンボウだらけの海って、楽しいだろうな。ウハウウ!マンボウ!♪～”と邪な世界に佇んでいたその時、事件は起こりました。全頭脳で想像を膨らませている私は、先生の度重なる呼名に慌てて起立し「マンボウッ!」と叫んでしまいました。そして、なんとも言えない寒気に似たものを感じたことは言うまでもありません。その後、あだ名は『…』になってしまいました。そして、更なる事件に襲われるのでした。校舎脇を歩いていると突然、額に激痛。一緒にいた級友が、「大丈夫?」と。「痛一っ」と額を擦りながら、目を開けると斜前2mの場所に

餃子が1個落ちていました。級友がその餃子を拾って「これ昨日の給食のだ!餃子が当ったんだ!あははは…!」その時、体育の先生が現れ冷静・淡々とした口調で「何やってんだ」と。人の世は恐ろしいもので、一瞬で学校全体に広まりました。痛いし、額は餃子の痕が付いて赤くなるし、爆笑されるし、そもそも校舎の上からものが落下してくることは大問題。しかし、「餃子がデコにぶつかった奴!」として先生やみんなからも笑われる。そして、いつしかあだ名は『餃子大臣』に変わりました。(内田)




イベント情報


Event Information

ボランティアまつり 10:00~17:00

●3/24(土)~25(日)



毎年恒例の“スペースパークボランティアまつり”が開催されます。大活躍中のボランティアグループが今年繰り広げた様々な活動の集大成をみなさんにお贈りします。昔懐かし紙芝居の実演や解説付き鉄道ジオラマショーなど楽しい企画いっぱいです!みなさまのお越しをお待ちしております。

★実演体験…昔懐かし紙芝居の実演、解説付き鉄道ジオラマショー

★参加体験…昔あそび、科学工作、天文工作、天体パズルに挑戦、天体観望会などなど、ほかにも楽しい企画が盛りだくさん!

S.P.V 活動情報(～3月)

※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

案内サービス “昔懐かし”紙芝居

◇平日11:30~、土日祝11:30~、14:30~(約15分)
☆随時実演

鉄道ジオラマ ジオラマショー案内

◇平日11:00~のみ、土日祝11:00~、15:00~(約20分)

科 学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00~16:00(展示ゾーン入館者)

天 文 駅前観望会

◇3/24(土)・3/31(土) 18:30~



他に市内出張活動や駅前イベントにも出展予定

今号のきら星☆さん

平成15年7月から科学ボランティアの活動を始め、11月で115回になりました。

応募時は、裏方としてのお手伝いと思い違いをしておりましたが、事前研修でいざつの仕方や接客の研修を受け、戸惑いながらのスタートでした。

活動当初は科学館で準備したメニューを取り組んできましたが、2年目からは会員が持ち寄ったアイデアをメニューに生かし、徐々に自生活

動化してきました。

これまでの活動では、高校生から人生の大先輩の方々まで、世代を超えた交流ができたことも大きな収穫です。ただ、せっかく知り合えたのにボランティアを離れられる方がいることは残念なことです。再び一緒に活動できたら嬉しいと思います。

今後は、探検ツアーの企画を実現したいと、若年層に負けない中高年の粘っこいパワーで一層がんばりたいと思います。(山崎)



★『S.P.Vつうしん』発行予定 第12号 3月中旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……ふれあい科学館 TEL 024(936)0201まで

編集
あとがき

夜のじじまのなかにも、冬将軍到来の足音が感じられるこの頃、先日は木枯らし1号が吹き荒れ季節の移ろいを実感させられました。そんな最中にもS.P.V.各グループの仲間達は元気に出張活動や出前活動と、群れから飛び出せ!とばかりに果敢に活動を展開、市民とのふれあい活動の成果は素晴らしい感嘆に値するものがありました。“冬来たりなば春遠からじ!”まもなく春の女神は大勢のエンゼルを引き連れてビッグアイの上空にも訪れてくれるでしょう。S.P.V.の皆さんと共に木枯らしに負けず健康にも留意しながら、陽春の訪れを期待して、今年の活動を有終の美で飾り来年の活動へとつなげたいものです。(添田)あ

